



地域安全ニュース 令和6年7月号

みんなでつくろう安全安心のまち
～犯罪・交通事故のない社会の実現を～

／ みんなで守ろう！ ／

子どもの安全

7月下旬から夏休みが始まり、子どもたちの行動範囲が広がります。
大切な子どもが犯罪に巻き込まれないよう、大人みんなで注意するとともに、
子どもたちには、「自分の身は自分で守る」ための防犯対策を伝えていきましょう。

子どもが被害者となる事件が増えています



例えばこんな事件が…

- 誘拐
- わいせつ…女の子に限らず、男の子が被害にあうケースも発生しています。
- 暴行・恐喝…被害者の大半が男の子です。

子どもが被害にあう時の特徴

- 一人にいる時の方が狙われやすい

時間とルートが決まっている登下校時は特に注意。複数人でいれば、一緒にいた子供が周囲の大人に事件を知らせることができ、早急な救助につながります。

- 言葉巧みに誘い出すため、思わずついていってしまう

「ゲームは好き？一緒にやろうよ」、「迷子になった犬を探して」など、子どもがつい気を許してしまう言葉で誘い出します。また、少しでも知っている人だと安心して誘いに乗ってしまいます。

- 犯罪に巻き込まれても誰にも言わないことも…

特にわいせつ事件は、恥ずかしさや恐怖、叱られるかもしれないなどの気持ちから、被害にあっても黙っている子どもがいます。被害自体はもちろん、心的外傷後ストレス障害(PTSD)も心配です。

事件が起きやすい場所

- 路上
- 公園
- 自宅玄関
- 商業施設
- 駐輪・駐車場
- エレベーター
- 階段・踊り場・屋上



こうした場所で、子どもから目を離さない、子どもを一人にさせないことが大切です！

子どもたちへの防犯指導が大切です！

身を守るための「約束」を、繰り返し伝えましょう！

よく知らない人には、ついて

声をかけられても、車には

知らない人に連れていかれそうになったら

声をかけられたり追いかけられたりしたら

こわいことにあったり見たりしたら、大人に

登下校時や外で遊ぶときには

どこに誰と行って何時に帰るのか、出かける

い か ない

の らない

お おごえを出す

す ぐにげる

し らせる

一 人 にならない

前 に伝える



一緒に確認しておきましょう！

●逃げ込む場所と助けを求める方法



「こども 110 番の家」は、いざというとき子どもが助けを求められる場所の一つです。

●活動範囲内の危険な場所



人通りが少ないなど犯罪に巻き込まれやすい場所を一緒に確認し、「ここへは近づかないように」と伝えておきましょう。

地域ぐるみの取り組みも必要です！

子どもを気にかけて、一声を

一人で遅くまで遊んでいる子どもには帰宅を促す、不似合いな子ども連れを見かけたら声をかけるなど、日頃から地域みんなの目で子どもたちを守りましょう。

不審者情報は警察署・交番に連絡を

自分や近所の子どもから不審者に関する情報を聞いたら、小さなことでも通報しましょう。それが犯罪防止につながります。

奈良県警察安全・安心アプリ

ナポリス

地域の犯罪発生情報の通知
など、機能がもりだくさん！



↑ダウンロードはこちらから

STOP！特殊詐欺

「あやしいな？」と思ったらご相談ください

警察相談電話
#9110

香芝市役所

消費者ホットライン
(局番なしの3桁)188

香芝警察署

身近な家族・友人

香 芝 市 生 活 安 全 推 進 協 議 会